

年度	開催地	内容
平成元年度	東京	発表論文数 38 編 参加者 166 名 特別講演 「アルメニア地震の災害」 建設省土木研 川島一彦
平成 2 年度	札幌	発表論文数 50 編 参加者 224 名 特別講演 「火山と火山災害」 北海道大学 勝井義雄
平成 3 年度	東京	発表論文 37 編 参加者 142 名 特別講演 「世界の海峡トンネル」 サンコーコンサルタント 持田 豊
平成 4 年度	大阪	発表論文 50 編 参加者 164 名 特別講演 「自然人間関係史の再検討」 徳島文理大学 日下雅義
平成 5 年度	東京	発表論文 45 編 参加者 184 名 特別講演 「地球環境問題に必要な視点」 茨城大学 大嶋和雄
平成 6 年度	福岡	発表論文 42 編 参加者 200 名
平成 7 年度	仙台	発表論文 43 編 参加者 229 名 特別講演 「津波研究の現状と防災」 東北大学 首藤伸夫
平成 8 年度	広島	発表論文 64 編 参加者 209 名 特別講演 「近畿地方における活断層調査結果について」 地質調査所 杉山雄一
平成 9 年度	北海道	発表論文 69 編 参加者 200 名 特別講演 「無機物運動と生き物諸相ー私の見た自然現象からー」 森林空間研究所 東 三郎
平成 10 年度	名古屋	発表論文 78 編 特別講演 「超深深層への挑戦ー地層処分の技術的信頼性を得るためにー」 核燃料サイクル開発機構 湯佐泰久
平成 11 年度	鹿児島	発表論文 87 編 参加者 204 名 特別講演 「火山地域の土砂災害とその対策」 鹿児島大学農学部 下川悦郎
平成 12 年度	京都	発表論文数 97 編 参加者 234 名 特別講演 「文化財と地震防災」 京都大学 土岐憲三
平成 13 年度	郡山	発表論文数 90 編 参加者 233 名 特別講演 「磐梯山の最新の活動と火山噴火予知の現状」 東北大学 浜口博之
平成 14 年度	高松	発表論文数 116 編 参加者 292 名 特別講演 「石と人の美しき出会い」 サムカイト楽器創始者 前田 仁
平成 15 年度	札幌	発表論文数 132 編 参加者 263 名 特別講演 「有珠山噴火災害の復興における技術的課題」 北海道大学 岡田弘
平成 16 年度	新潟	発表論文数 139 編 参加者 222 名 特別講演 「越後平野の「変革」と大河津分水 ～人と思想と技術にふれて～」 信濃川大河津資料館館長 五百川 清
平成 17 年度	名古屋	発表論文数 136 編 参加者 285 名 特別講演 「東海・東南海地震の地震動および津波災害について」 名古屋大学 安藤雅孝
平成 18 年度	熊本	発表論文数 159 編 参加者 307 名 特別講演 「阿蘇火山の形成と最近の噴火活動」 熊本大学 渡辺一徳
平成 19 年度	大阪	発表論文数 134 編 参加者 269 名 特別講演 「近年の地震による地すべり」 京都大学 千木良雅弘
平成 20 年度	横浜	発表論文数 127 編 参加者 371 名 特別講演 「東京湾岸地域における地質工学 50 年の実績」 地圏空間研究所 小島圭二
平成 21 年度	山形	発表論文数 103 編 参加者 213 名 特別講演 「平泉・藤原氏の成り立ち」 山形大学名誉教授 工藤雅樹

平成 22 年度	松江	発表論文数 171 編 参加者 295 名 特別講演 「底質からみた宍道湖・中海の完新世環境変動」 島根大学教授 三瓶良和
平成 23 年度	札幌	発表論文数 129 編 参加者 236 名 特別講演 「地形変化と生物多様性 - 劣化と再生のシナリオ - 」 北海道大学大学院教授 中村太士
平成 24 年度	新潟	発表論文数 110 編 参加者 225 名 特別講演 「新潟地域の石油・天然ガス開発と今後の展望?探鉱・開発・生産から販売まで?」 石油資源開発株式会社 深澤 光
平成 25 年度	名古屋	発表論文数 117 編 参加者 236 名 特別講演 「歴史と現代を対比し克災する」 名古屋大学減災連携研究センター長 福和伸夫
平成 26 年度	福岡	発表論文数 131 編 参加者 301 名 特別講演 「地震・火山噴火予知研究の現状と課題」 九州大学大学院理学研究院附属 地震火山観測研究センター 清水 洋士
平成 27 年度	京都	発表論文数 109 編 参加者 225 名 特別講演 「地震考古学から関西の大地震を考える」 産業技術総合研究所 招聘研究員 寒川 旭
平成 28 年度	仙台	発表論文数 124 編 参加者 287 名 特別講演 「歴史から災害を読み取る」 宮城学院女子大学 学長 平川 新
平成 29 年度	岡山	発表論文数 157 編 参加者 333 名 特別講演 「津波堆積物から見える南海トラフ巨大地震」 高知大学 特任教授 岡村 眞
平成 30 年度	札幌	発表論文数 147 編 参加者 277 名 特別講演 「歴史記録や津波堆積物から探る超巨大地震の発生様式」 北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター センター長・教授 谷岡 勇市郎
令和元年度	長岡	発表論文数 128 編 参加者 296 名 特別講演 「越後平野の変遷と新潟のラムサール条約 “湿地都市認証” の可能性」 新潟大学 名誉教授 大熊 孝
令和 2 年度	名古屋	発表論文数 117 編 参加者 217 名 (オンライン開催) 特別講演 「南海トラフ地震に関する最新の知見」 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 山岡 耕春
令和 3 年度	長崎 (オンライン)	発表論文数 127 編 参加者 327 名 (オンライン開催) 特別講演 「「トンネルと岩盤力学—トンネルの建設・運用における岩盤力学と地質工学の役割—」 長崎大学大学院工学研究科 教授 蔣 宇静
令和 4 年度	吹田	発表論文数 128 編 参加者 338 名 (ハイブリッド開催) 特別講演 「6～7 世紀における土構造物の特性—飛鳥地域の後・終末期古墳の様相—」 明日香村教育委員会文化財課 西光 慎治
令和 5 年度	秋田	発表論文数 135 編 参加者 343 名 (ハイブリッド開催) 特別講演 「地中熱利用の現状と今後の展望」 秋田大学 大学院国際資源学研究科 教授 藤井 光
令和 6 年度	高松	発表論文数 165 編 参加者 389 名 (ハイブリッド開催) 特別講演 「四国の防災風土資源から防災を考える」 香川大学 客員教授 松尾 裕二